

令和3年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立鶴岡工業高等学校(全日制)

教育目標	1 豊かな教養と工業に関する知識と技術を修め、創造性に富んだ人間の育成。	重点目標	1 確かな学力の定着と主体的に探究する学習の推進 ー知識基盤社会を生き抜く学力の育成ー
	2 自ら深く考え正しく判断する力と他を思いやる心をもった感性豊かな人間の育成。		2 生徒指導の充実と心身の健康管理 ー豊かな心と健やかな体の育成ー
	3 健全な身体とねばり強い実践力を培い、心身共にたくましい人間の育成。		3 自己実現を達成できるキャリア教育の推進 ー変化に的確に対応し、社会で自立できる力の育成ー
			4 未来を共創する工業人の育成と学校活力の創出 ー学校と地域の協働による人づくりー
			5 地域の期待に応える魅力ある元気な学校づくり ー郷土に誇りを持ち、地域とつながる生徒の育成ー

達成度	A : 達成	B : 概ね達成	C : やや不十分	D : 不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

評価項目	自己評価(年間)		学校関係者評価		総括	
	具体的方策と指導・基準等	目標達成状況及び取り組み状況	達成度	次年度に向けた改善策		意見・要望・評価等
1 確かな学力の定着と主体的に探究する学習の推進	(1)確かな学力の定着と創造的・主体的に学びに向かう力の育成 (2)主体的に対話的な深い学び(探究的学習)を育む授業改善の推進 (3)専門性の高い資格取得等に対応できる能力を育成する指導の推進	(1)出席率99.5%の目標については、長欠者がいる関係で達成はできなかった。 (2)家庭学習時間については、昨年と比較してほぼ横ばいであった。 (3)授業満足度の目標80%を達成できた。 (4)欠点保有者を0人とすることはできなかった。 (5)年間図書貸出読書数2.8冊/人(昨年2.4冊) (6)職員を研修会に派遣し教科指導の充実を図った。	B	・生徒の要望に応える校内組織の在り方を引き続き検討しさらなる充実を図る。 ・学力向上策、キャリア教育推進、カリキュラム・マネジメント構築を検討する。 ・教科指導法についての研修をさらに充実させる。	・創意工夫をこらし学力向上の取り組みを推進していること、資格取得や研究発表を推進されていることを評価する。 ・わかりやすい授業を展開し、生徒・保護者ともに満足度が高い。さらに個々の持っている力に応じた指導をのぞむ。 ・コロナ禍の中、限られた時間・環境にあわせた学習方法を生徒に提供することが大切になってくると思う。 評価A	・学習活動、部活動など様々な場面で主体的に考え行動できる生徒を育成します。 ・コロナ禍にあることを踏まえ、地域拠点校としての特色と魅力をさらに発信できるように努力していきます。 ・地域に根ざした元気な学校、郷土に誇りを持ち地域とつながる生徒の育成を心掛けて実践します。
2 生徒指導の充実と心身の健康管理	(1)生命の尊厳に目を向ける「いのちの教育」の推進 (2)自他の尊厳の尊重と社会人としての規範意識・マナーの確立 (3)円滑な人間関係を育む学校生活の確立と交通安全・情報モラル教育の推進 (4)学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動の推進	(1)いじめアンケートに迅速かつ適切に対応した。 (2)自転車事故が5件と増加した。 (3)部活動加入率は目標の90%以上を達成した。 (4)コロナ禍にありPTA総会は書面にて実施した。 (5)コロナ禍にあり学年PTA・学級PTAは例年より制限した回数、内容で実施した。 (6)コロナ禍ではあったが外部講師を活用した講話は実施できた。機器使用のルール徹底と情報モラルの啓発に向けた注意喚起を行った。 (7)生徒支援委員会が中心となり学年団部や当該学科等との情報交換やスクールカウンセラーの活用などにより生徒支援を充実させた。	B	・いじめは絶対許さない校風づくりに完全防止を徹底する。 ・交通安全や防犯、SNS活用等について今後も指導を適切に行う。 ・支援を必要とする生徒については今後も対応が求まれていく。支援委員会を中心とした組織的対応をさらに充実させる。 評価B	・各指導事項とも適切に対応されている。特にコロナ対策については万全の措置を推進されており、高く評価する。 ・特別支援を要する生徒への対応、部活動指導ともよく努力されている。今後とも生徒の豊かな心と健やかな体の育成に努めていただきたい。 ・生徒・保護者とも高い割合で満足している。一部保護者の厳しい声もあるが、先生方への期待感の裏返しと考える。更なる改善を。 評価B	・確かな学力に基づいたキャリア教育の視点で探究心や向上心を持った生徒を育成します。 ・生徒一人ひとりの実情に合った支援に取り組みます。 ・家庭学習の習慣化をめざし継続して指導します。
3 自己実現を達成できるキャリア教育の推進	(1)将来の在り方・生き方を考え、変化に対応できる実践的な技術者の育成 (2)社会で求められるコミュニケーション力や自己表現力等を備えた人間力の育成 (3)地域の未来を考え、起業的・国際的視野を持った人材育成を図る進路指導の展開 (4)国公立大を含めた高い目標を達成する進学指導体制の確立	(1)就職希望126名中県内75名、県外39名、公務員12名が内定した。 (2)地元就職率は60%の目標を達成した。 (3)進学指導体制が強化され、大学合格者の人数が増加した。 (4)3年間を見通した進路ガイダンスにより充実した進路指導を実施した。 (5)電気工事士27名、測量士補1名、2級土木施工18名、2級建築施工22名合格。	A	・総合型や学校推薦型の大学受験に向けて、2・3年生の進学希望者に対する指導体制の充実をはかる。 ・総合的な探究の時間などの機会を通じ、地域への関心を高めつつ進路指導を展開する。 評価A	・コロナ禍という困難な環境の中、順調に成果を上げている。 ・公開の課題研究発表会が、生徒の発表能力やコミュニケーション能力の向上に大きく寄与している。 評価A	・いじめの根絶や交通安全意識の向上に今後も取り組みます。 ・元気で豊かな心と健やかな体を育み、工業教育の充実と学校活力の創出に取り組みます。 ・各種大会で全国で優勝できる生徒を育成します。
4 未来を共創する工業人の育成と学校活力の創出	(1)ものづくりに対する創造性・主体性を備えた実践力の育成 (2)地域や産業界、大学等と連携した工業教育の活性化と起業家精神(アントレプレナーシップ)の醸成 (3)地域への工業教育の魅力発信と各種コンテスト等における全国的な活躍への支援	(1)山形大学国際事業化研究センターと高大連携により本県の未来を担う起業家育成プログラムを実践した。 (2)地域に工業技術を生かす研究活動を積極的に行った。課題研究発表会では1月に荘銀タクト鶴岡で開催した。ものづくり展示会は11月にイオンモール三川で実施した。いずれも大好評であった。	B	・高大連携や企業との連携をさらに強化し、地域の教育資産を活用した活動を継続実践する。そのことを通じ、生徒の主体性や創造性を育てる。 評価A	・工業技術者として志を高く掲げ地域の未来を考え担う生徒を育てるべく、資格取得や検定受験に積極的に取り組んでいる。 ・課題研究発表会などの機会を通じ、主体的に学ぶ取り組みを今後とも継続して欲しい。 ・地元企業や先輩企業との交流・連携をさらに強め、鶴工をサポートしていただく体制づくりに取り組んでいただきたい。 評価A	・工業技術者として志を高く掲げ地域の未来を考え担う生徒を育てるべく、資格取得や検定受験に積極的に取り組んでいる。 ・課題研究発表会などの機会を通じ、主体的に学ぶ取り組みを今後とも継続して欲しい。 ・地元企業や先輩企業との交流・連携をさらに強め、鶴工をサポートしていただく体制づくりに取り組んでいただきたい。 評価A
5 地域の期待に応える元気な学校づくり	(1)高大連携による地域課題解決に向けた取り組みの推進 (2)地域との連携・協働による教育活動の推進 (3)全国で活躍する部活動やものづくり活動、研究活動の育成と支援 (4)ホームページやパブリシティ等を活用した積極的な情報発信	(1)山形大学工学部との高大連携・接続協定により、生徒に研究体験を積ませることができた。 (2)全国高校総体・管楽合奏コンテスト全国大会・全国高総文祭に出場するなど、コロナ禍で活動の制約もある中、各部活動ともよく練習し一定の成果を挙げた。 (3)HPについては一部更新頻度が低い状況であった。	B	・運動部、文化部、ものづくり活動の一層の活発化をはかり、学校活力を創出していく。 ・高大連携を継続し、より多くの生徒に専門性の高い学びの機会をつくっていく。 評価B	・工業高校は地域との連携について特に期待されている面がある。「ものづくり」の他、「若さと体力」を生かした地域支援へとその幅を広げて欲しい。 ・地域との連携に各科が取り組み、要望を吸い上げながら地域とともに歩む姿をものづくりの形として示していただきたい(特に高齢者対策)。 ・学校として行っている努力が、地域へ伝わってほしいと感じた。 評価B	・いじめの根絶や交通安全意識の向上に今後も取り組みます。 ・元気で豊かな心と健やかな体を育み、工業教育の充実と学校活力の創出に取り組みます。 ・各種大会で全国で優勝できる生徒を育成します。

自己評価及び学校関係者評価の改善点等	・学習活動・部活動の一層の活性化を通じ、主体的に考える習慣と他者を大切に思い行動する習慣を身につけた生徒を育成する。 ・地域との連携をさらに強化し、工業高校の特徴であるものづくり教育を地域人材の育成に結びつけられるよう、職員一丸となって取り組む。
--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------